

工 事 名 : 南 1 区 1 9 号 線 ほか 1 路 線 電 線 共 同 溝 整 備 工 事 (7 - 2)

工事場所 : 南区東駅町ほか

積算参考資料

(注) (この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。)

広島市道路交通局道路部街路課

積算参考資料

（この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。）

提 示 項 目	提 示 事 項																																													
週休2日関係	「設計業務委託等技術者単価」は労務費の補正対象としない。																																													
見積単価	見積単価については、別添「見積単価一覧表」のとおり。単価は週休2日工事の補正がかかる前の単価である。 「見積単価一覧表」の資源区分『労務費』及び『機械賃料（2DaW）』は週休2日工事の補正がかかる単価である。それ以外の資源区分については、週休2日工事の補正がかからない単価である。																																													
仮設関係	土留・仮締切工及び水替工における仮設材は下表のとおり見込んでいる。 <table><tr><td>仮設種別</td><td>平均 矢板長</td><td>設置延長</td><td>資材量</td><td>供用日数等</td></tr><tr><td>軽量鋼矢板 I 型</td><td>2.0m</td><td>250.8m</td><td>10m×両側分を転用</td><td>38 日</td></tr></table> <table><tr><td>仮設種別</td><td>施工 段数</td><td>総区間 距離</td><td>掘削幅</td><td>供用日数等</td></tr><tr><td>軽 量 金 属 腹 起 し 材 賃 料</td><td>1</td><td>10m</td><td>—</td><td>38 日</td></tr><tr><td>水圧式サポ ート賃料</td><td>1</td><td>10m</td><td>790mm 以下</td><td>1日</td></tr><tr><td>//</td><td>1</td><td>10m</td><td>800mm～1040mm</td><td>1日</td></tr><tr><td>//</td><td>1</td><td>10m</td><td>1050mm～1440mm</td><td>31日</td></tr><tr><td>//</td><td>1</td><td>10m</td><td>1450mm～1940mm</td><td>5日</td></tr><tr><td>水圧ポンプ 賃料</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>38日</td></tr></table> 下水道使用料に係る汚水排水量は 2103.7m3 を見込んでいる。	仮設種別	平均 矢板長	設置延長	資材量	供用日数等	軽量鋼矢板 I 型	2.0m	250.8m	10m×両側分を転用	38 日	仮設種別	施工 段数	総区間 距離	掘削幅	供用日数等	軽 量 金 属 腹 起 し 材 賃 料	1	10m	—	38 日	水圧式サポ ート賃料	1	10m	790mm 以下	1日	//	1	10m	800mm～1040mm	1日	//	1	10m	1050mm～1440mm	31日	//	1	10m	1450mm～1940mm	5日	水圧ポンプ 賃料	—	—	—	38日
仮設種別	平均 矢板長	設置延長	資材量	供用日数等																																										
軽量鋼矢板 I 型	2.0m	250.8m	10m×両側分を転用	38 日																																										
仮設種別	施工 段数	総区間 距離	掘削幅	供用日数等																																										
軽 量 金 属 腹 起 し 材 賃 料	1	10m	—	38 日																																										
水圧式サポ ート賃料	1	10m	790mm 以下	1日																																										
//	1	10m	800mm～1040mm	1日																																										
//	1	10m	1050mm～1440mm	31日																																										
//	1	10m	1450mm～1940mm	5日																																										
水圧ポンプ 賃料	—	—	—	38日																																										
事業損失防止 施設費	調査費は技術経費・諸経費を含めたものを計上し、共通仮設費（率分）・現場管理費・一般管理費の対象としない。 ただし、事業損失防止施設の設置、撤去、維持管理費は、共通仮設費（率分）・現場管理費・一般管理費の対象とする。																																													
契約関係	特殊代価表以降は、契約書に綴じこまない。																																													

月単位の週休2日工事に係る積算について

本工事は、月単位（4週間の期間内）で振替日の設定を行う「月単位の週休2日工事」であるため、以下の方法で積算を行っている。

「広島市週休2日工事等試行要領（土木工事）」により当初設計から月単位で4週8休以上であった場合の補正係数を乗じている。

なお、補正係数については以下のとおりとする。

【労務費：1.04】（設計業務委託等技術者単価は除く）

【機械経費（賃料）：1.02】

【共通仮設費率：1.03】

【現場管理費率：1.05】

市場単価（港湾工事は除く） 試行要領の別表1、2参照

土木工事標準単価 試行要領の別表3参照

※ 月単位で4週8休に満たなかった場合、現場閉所状況に応じ、補正係数を減じた変更を行う。

「週休2日交替制工事」の実施を希望する場合、契約締結後7日以内に、「週休2日交替制工事」の実施を希望する旨を発注者に書面で提出すること。

受理されれば、「広島市週休2日工事等試行要領（土木工事）」により「週休2日交替制工事」の補正係数により変更を行う。

なお、月単位の「週休2日交替制工事」補正係数については以下のとおりとする。

【労務費：1.04】（設計業務委託等技術者単価は除く）

【現場管理費率：1.03】

市場単価（港湾工事は除く） 試行要領の別表1、2参照

土木工事標準単価 試行要領の別表3参照

※ 月単位で4週8休に満たなかった場合、休日の取得状況に応じ、補正係数を減じた変更を行う。

見 積 単 価 一 覧 表

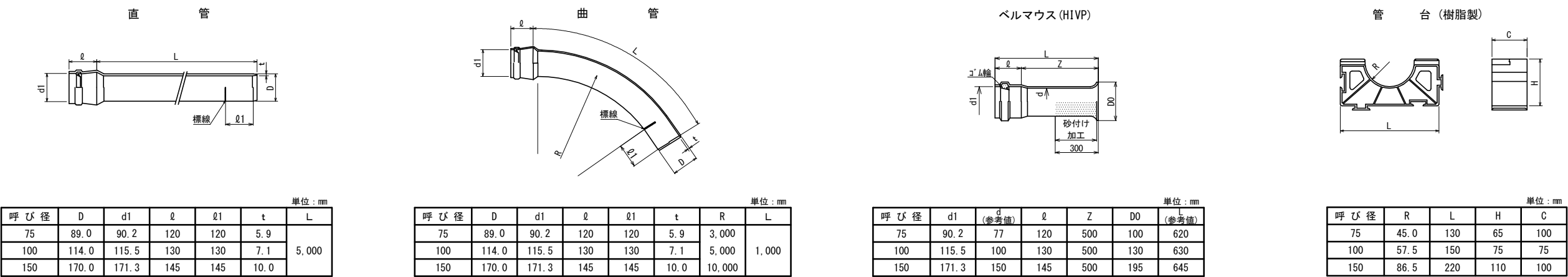
単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA1001	沈埋型ヘルマウス ECVP Φ150	個	R0707	14,100	材料単価	全間接費の 対象	
TA1002	沈埋型ヘルマウス ECVP Φ100	個	R0707	8,010	材料単価	全間接費の 対象	
TA1003	沈埋型ヘルマウス ECVP Φ75	個	R0707	6,440	材料単価	全間接費の 対象	
TA1004	管台 ECVP Φ150-220P	個	R0707	580	材料単価	全間接費の 対象	
TA1005	管台 ECVP Φ100-150P	個	R0707	470	材料単価	全間接費の 対象	
TA1006	管台 ECVP Φ75-130P	個	R0707	360	材料単価	全間接費の 対象	
TA1007	ECVP管 Φ150 直管	m	R0707	3,786	材料単価	全間接費の 対象	
TA1008	ECVP管 Φ75 直管	m	R0707	1,168	材料単価	全間接費の 対象	
TA1009	ECVP管 Φ150 曲管	m	R0707	7,480	材料単価	全間接費の 対象	
TA1010	ECVP管 Φ75 曲管	m	R0707	2,720	材料単価	全間接費の 対象	
TA2002	ヤトリ継手 VP Φ150	本	R0707	16,490	材料単価	全間接費の 対象	
TA2003	ヤトリ継手 PV Φ75	本	R0707	3,210	材料単価	全間接費の 対象	
TA2007	沈埋型ヘルマウス VP Φ250	個	R0707	37,140	材料単価	全間接費の 対象	
TA2008	沈埋型ヘルマウス VP Φ150	個	R0707	21,640	材料単価	全間接費の 対象	
TA2009	沈埋型ヘルマウス PV Φ75	個	R0707	19,550	材料単価	全間接費の 対象	
TA2010	沈埋型ヘルマウス PV Φ50	個	R0707	17,620	材料単価	全間接費の 対象	
TA2011	沈埋型ヘルマウス FEP Φ65	個	R0707	3,300	材料単価	全間接費の 対象	

見 積 単 価 一 覧 表

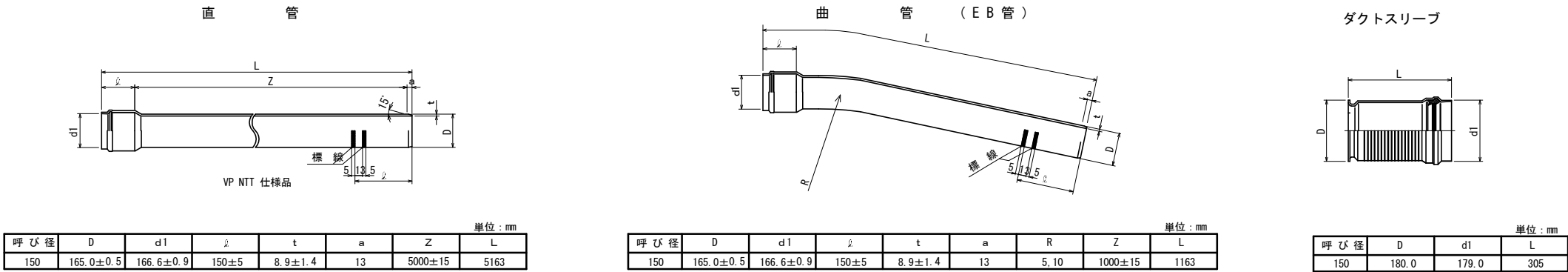
単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA2014	管台 PV管 Φ75-130P	個	R0707	360	材料単価	全間接費の 対象	
TA2015	管台 PV管 Φ50-95P	個	R0707	350	材料単価	全間接費の 対象	
TA3001	特殊部【MH-1】 1350×1800×3700（沈埋型）	基	R0707	4,644,470	材料単価	全間接費の 対象	
TA3002	特殊部【MH-2】 1350×1800×3700（沈埋型）	基	R0707	4,652,990	材料単価	全間接費の 対象	
TA3003	特殊部【MH-3】 1350×1800×3700（沈埋型）	基	R0707	4,895,690	材料単価	全間接費の 対象	
TA3004	特殊部【MH-4】 1350×1800×3700（沈埋型）	基	R0707	4,825,990	材料単価	全間接費の 対象	
TA3005	特殊部【MH-5】 1350×1800×3700（沈埋型）	基	R0707	4,677,470	材料単価	全間接費の 対象	
TA3006	鉄蓋 車道用 T-25	組	R0707	320,000	材料単価	全間接費の 対象	
TA3007	鉄蓋 歩道用 T-25	組	R0707	330,000	材料単価	全間接費の 対象	
TA9001	技師（A）	人	R0707	59,600	労務費（2 DaW）	全間接費対 象外	
TA9002	技師（B）	人	R0707	48,500	労務費（2 DaW）	全間接費対 象外	
TA9003	技師（C）	人	R0707	40,300	労務費（2 DaW）	全間接費対 象外	
TA9004	技術員	人	R0707	36,100	労務費（2 DaW）	全間接費対 象外	

管路材構造図(1) S=1:20

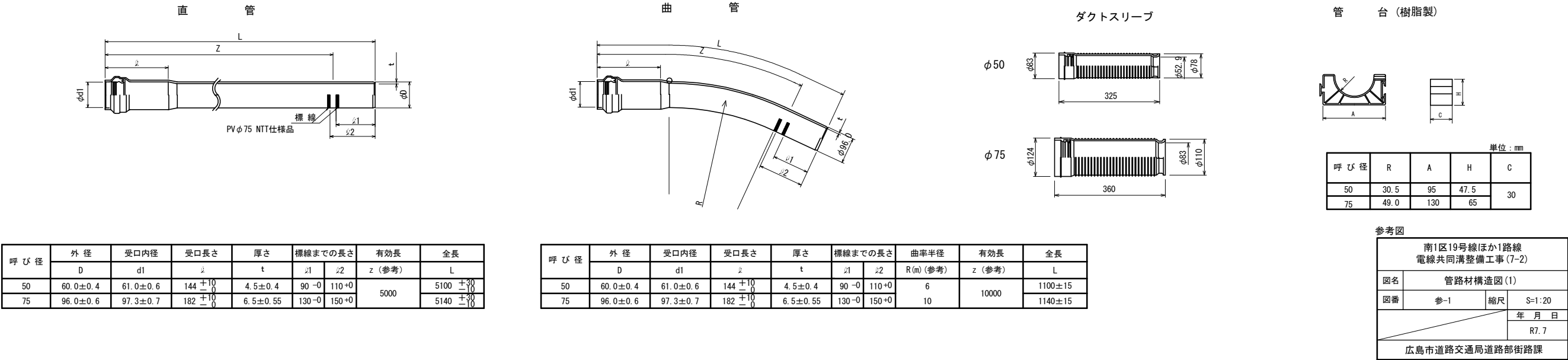
耐衝撃性塩化ビニル管（ECVP）



硬質塩化ビニル管（VP）



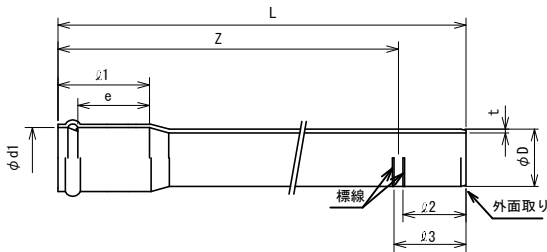
硬質ビニル管（PV）



管路材構造図(2) S=1:20

硬質塩化ビニル管（ボディー管—VP）

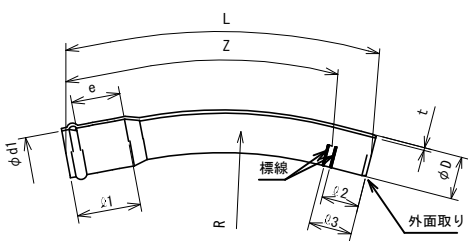
直 管



呼び径	受口内径	受口長さ	有効挿入長さ	外径	厚さ	差込み長さ		有効長	全長	面取り巾 (参考)
	d1	ℓ1	e (最小)	D	t	ℓ2	ℓ3	Z (参考)	L	
250	269.3±1.2	260±5	132	267.0±0.9	12.7 +1.8	200 -0	220 +0	2500	2710 +30 -10	25
								5000	5210 +30 -10	

備考：面取り角度は、15°とする。

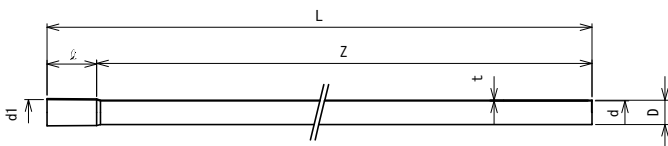
曲 管



呼び径	受口内径	受口長さ	有効挿入長さ	外径	厚さ	差込み長さ		曲率半径	有効長	全長	面取り巾 (参考)
	d1	ℓ1	e (最小)	D	t	ℓ2	ℓ3	R (m) (参考)	Z (参考)	L	
250	269.3±1.2	260±5	132	267.0±0.9	12.7 +1.8	200 -0	220 +0	6, 10	1000	1210 +30 -10	25

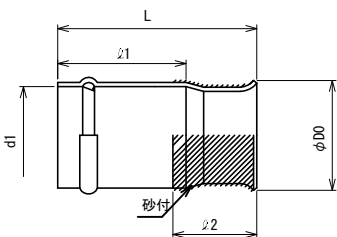
備考：面取り角度は、15°とする。

硬質塩化ビニル管（さや管—SU）



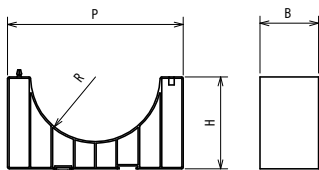
呼 び 径	受 口 部		差 口 部			有効長 Z	全 長 (参 考)
	受口内径 d1	受口長さ ℓ	外 径 D	内 径 d (参考)	厚 さ t		
30	34.8±0.2	110 +0 -10	34.0±0.2	30	2.0±0.2	5000±15	5110
50	54.9±0.3		54.0±0.3	50	2.0±0.2		

ベルマウス



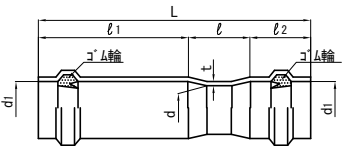
呼び径	受口内径	受口長さ	ベルマウス	全長	砂付長さ
250	269.3±1.2	310±10	D0 (参考値)	L	ℓ2 (参考値)
			300	470	200

管 台（樹脂製）



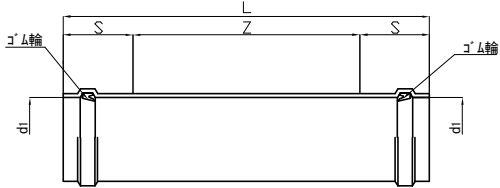
呼 び 径	P	B	H	R
250	350	100	182.5	136

ヤリトリ継手



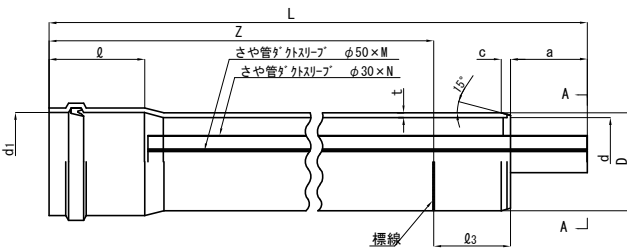
呼び径	d (参考値)	d1	t	ℓ±20	ℓ1±20	ℓ2 +5 -0 (参考値)	L (参考値)
150	146	166.2±0.5	9.6±0.7	135	300	145	580

スライド管



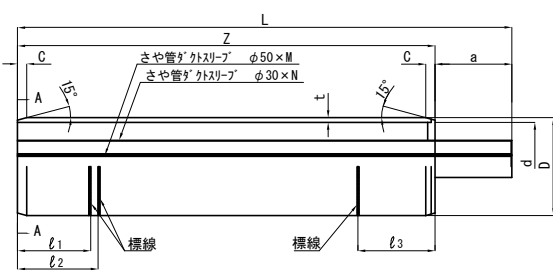
呼び径	d1 (最小値)	S (標準挿入長)	Z	L (参考値)
250	268.1	210	580	1,000

ローヌ管（起点側用）



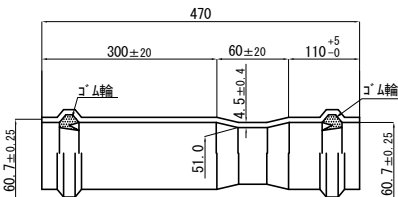
呼び径	d1 (最小値)	ℓ±5	D	d (参考値)	t	c (参考値)	ℓ3	a (参考値)	Z (有効長)	L (全長)	M	N
250	268.1	260	267±0.9	240	13.6±0.9	25	210	210	1,200	1,620	4	17
											5	15
											6	10
											7	8
											8	6
											9	2

ローヌ管（終点側用）



呼び径	D	d (参考値)	t	c (参考値)	ℓ1	ℓ2	ℓ3	a (参考値)	Z (有効長)	L (全長)	M	N
250	267±0.9	240	13.6±0.9	25	200-0	220-0	210	210	1,140	1,350	4	17
											5	15
											6	10
											7	8
											8	6
											9	2

PV50用ヤリトリ継手



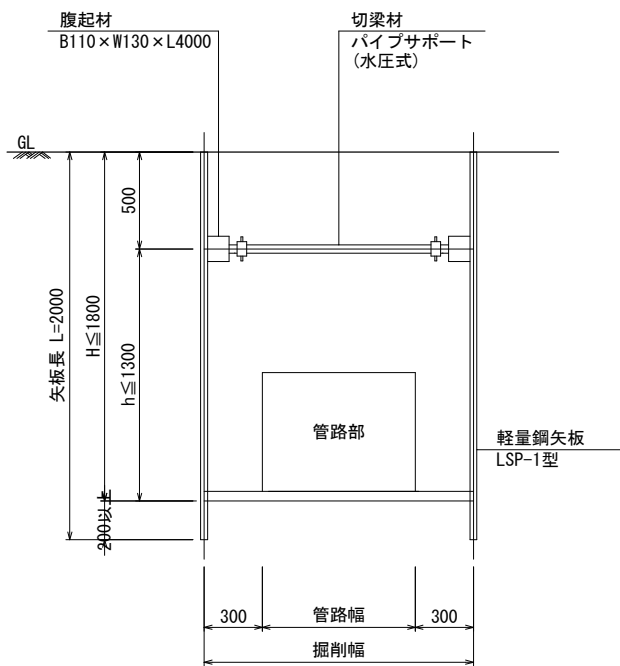
参考図

南1区19号線ほか1路線 電線共同溝整備工事(7-2)			
図名	管路材構造図(2)		
図番	参-2	縮尺	S=1:20
		年 月 日	R7.7
広島市道路交通局道路部街路課			

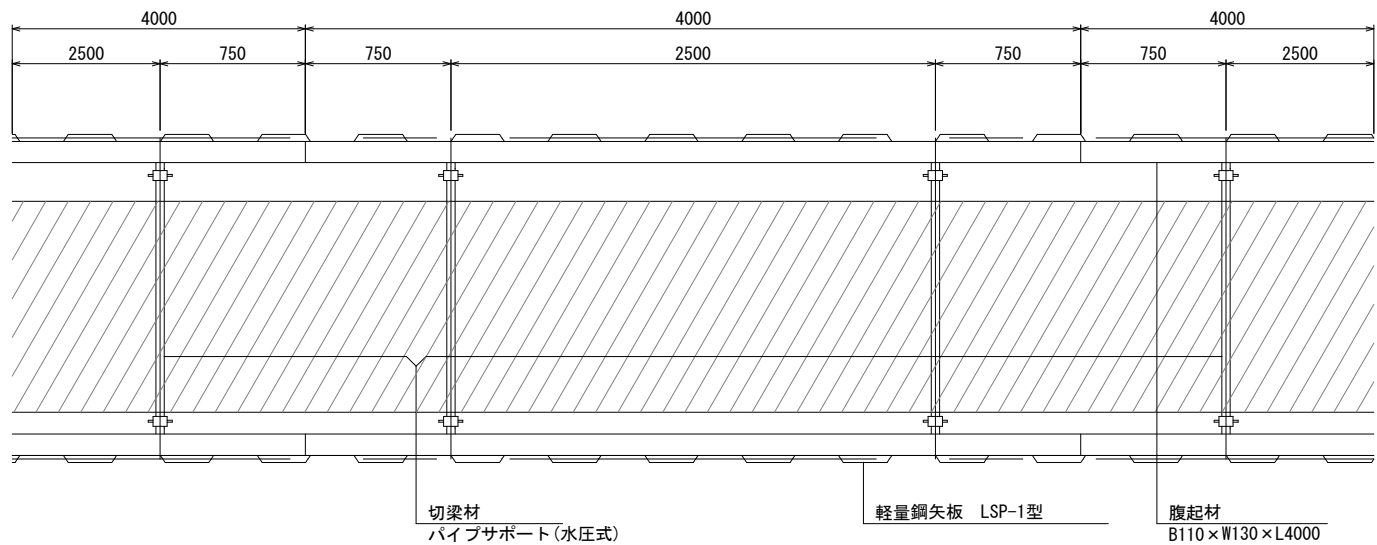
仮設工構造図 S=1:20
(参考図)

管 路 部

(H≤1800)



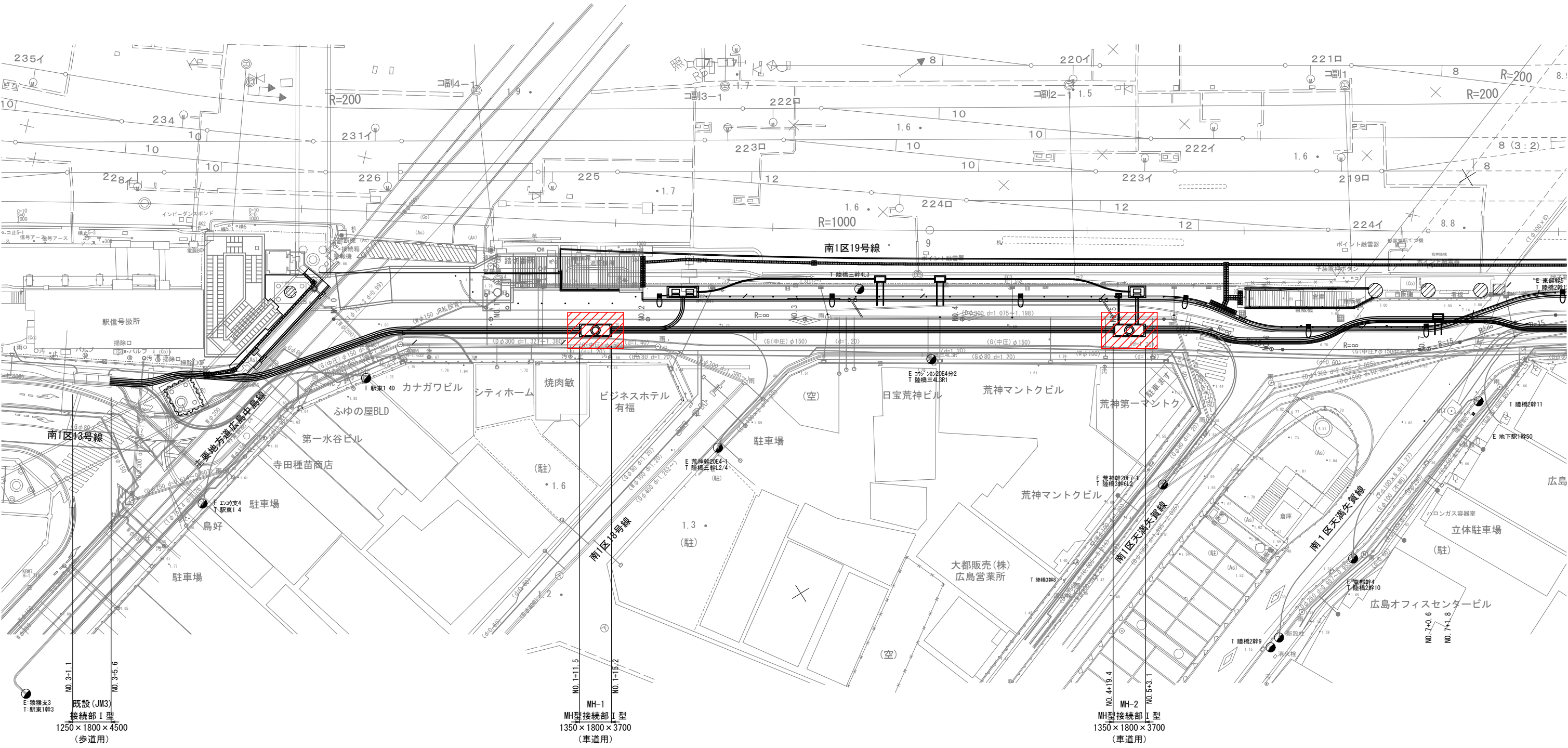
平 面 図



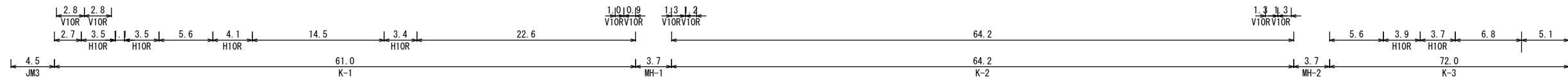
南1区19号線ほか1路線 電線共同溝整備工事 (7-2)			
図名	仮設構造図		
図番	参-3	縮尺	S=1:20
		年 月 日	
		R7.7	
広島市道路交通局道路部街路課			

薬液注入工詳細図(1)

S=1/250



 :薬液注入工

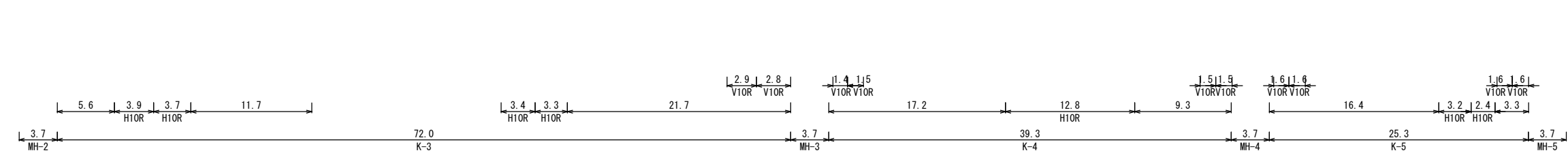
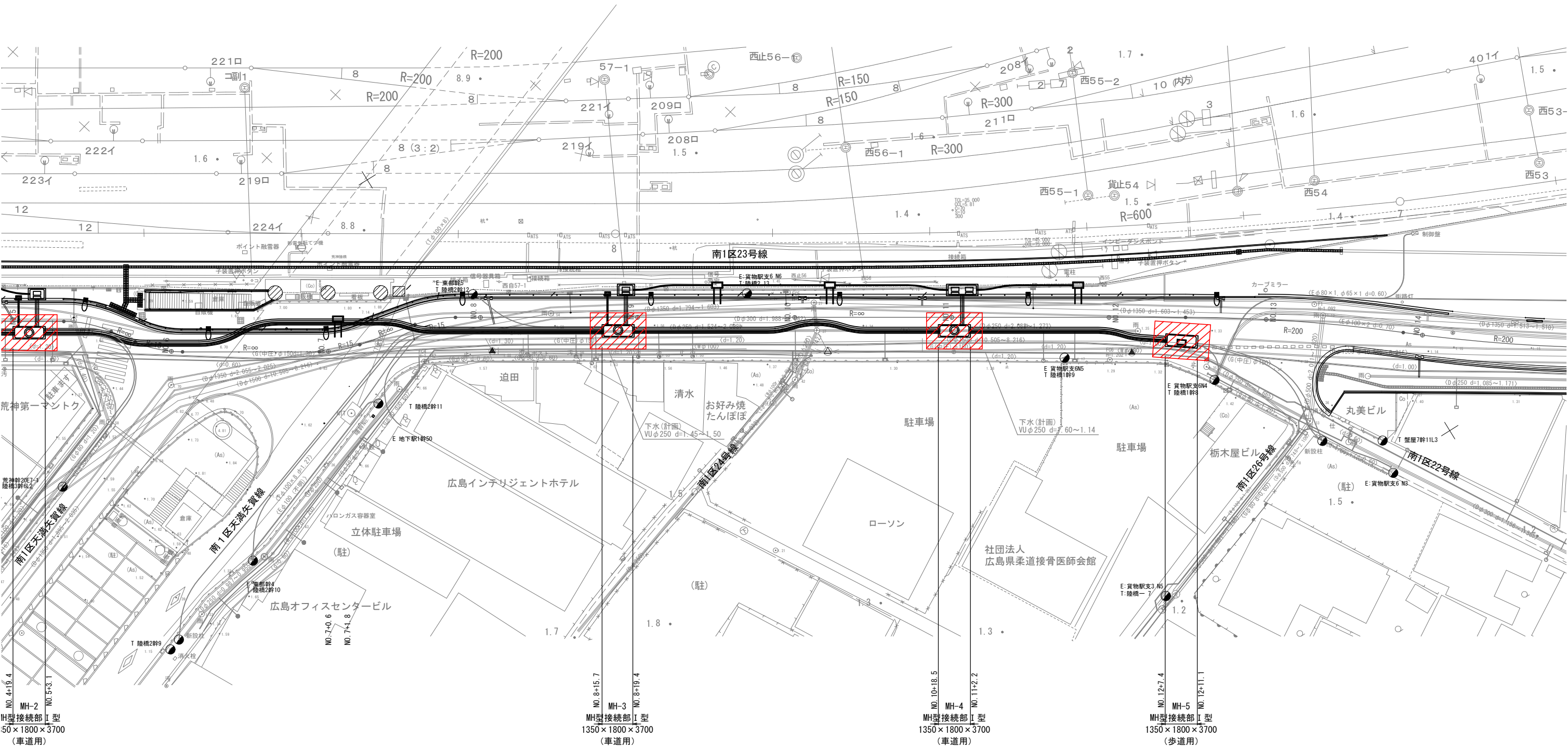


参考図

南1区19号線ほか1路線 電線共同溝整備工事(7-2)			
図名	薬液注入工詳細図(1)		
図番	参-4	縮尺	S=1:250
		年月日	R7.7
広島市道路交通局道路部街路課			

薬液注入工詳細図(2)

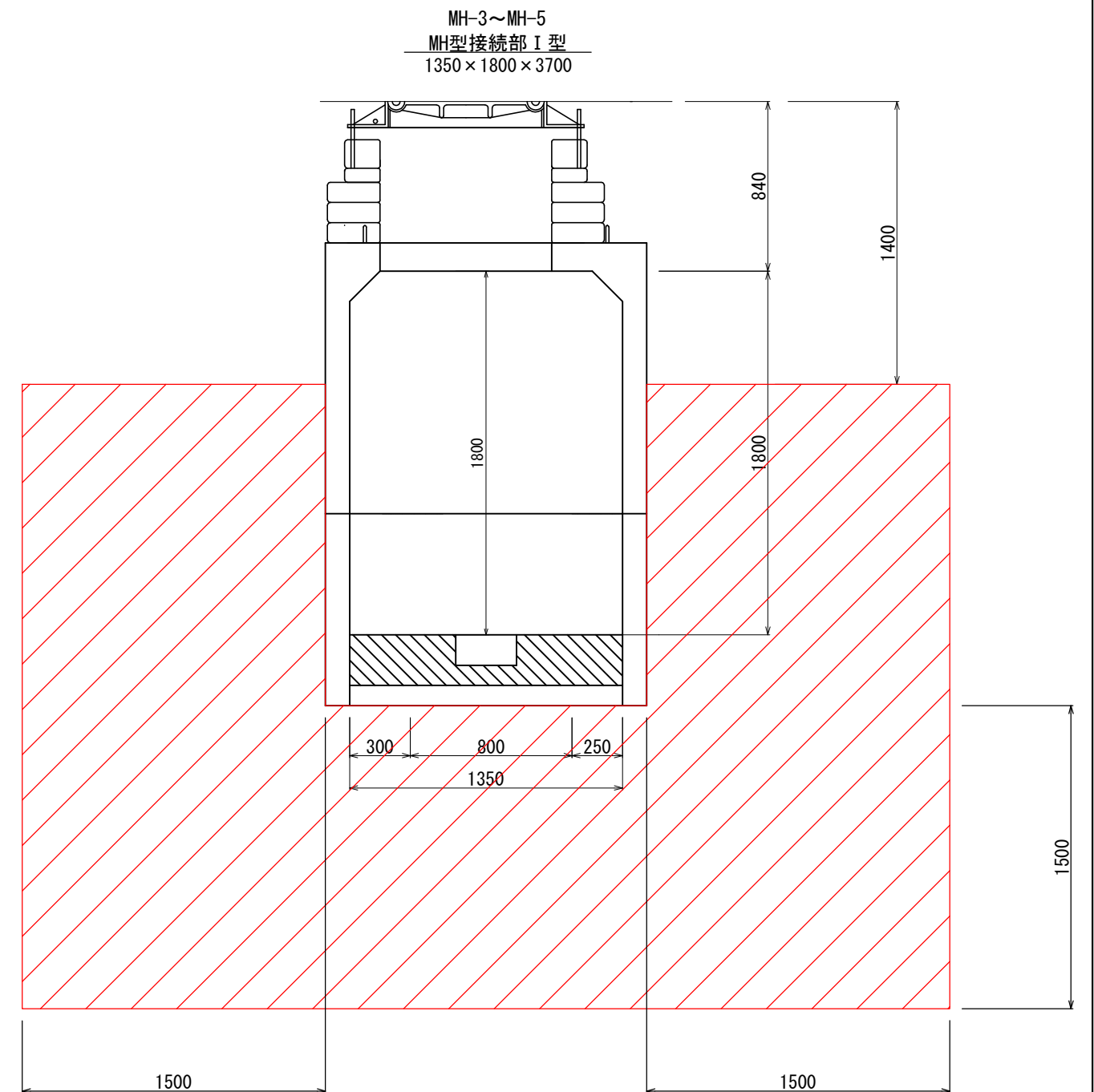
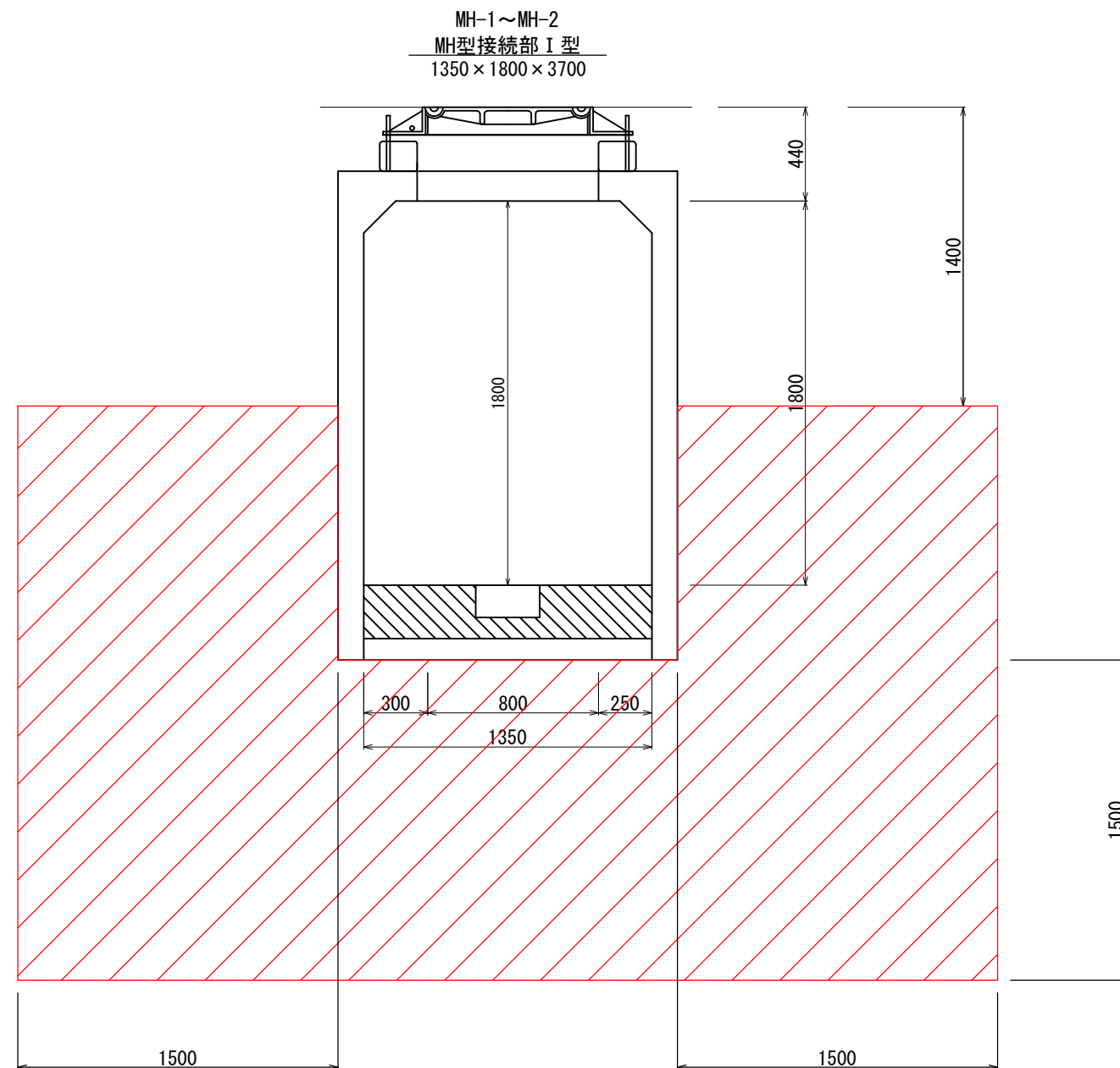
S=1/250



薬液注入工

参考図			
南1区19号線ほか1路線 電線共同溝整備工事(7-2)			
図名	薬液注入工詳細図(2)		
図番	参-5	縮尺	S=1:250
		年月日	R7.7
広島市道路交通局道路部街路課			

薬液注入工詳細図(3) S=1:15



 : 薬液注入工

南1区19号線ほか1路線 電線共同溝整備工事(7-2)			
図名	薬液注入工詳細図(3)		
図番	参-6	縮尺	S=1:15
			年 月 日
			R7. 7
広島市道路交通局道路部街路課			